



かけこう通信

令和4年度第2号
令和4年6月15日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校 発行

掛合小学校との交流活動を行いました ～絵本の読み聞かせ、コラボ昼休み活動～

5月27日（金）、隣接する掛合小学校を2年生7人が訪れ、子どもたちに絵本の読み聞かせを行いました。掛合分校では、月1回、全学年生徒が交代で小学校にお邪魔し、朝の「ほほえみタイム」の時間に、あらかじめ選んできた絵本を小学生に読み聞かせ、紹介しています。今年度初めてとなるこの日、最初は緊張した様子も見られましたが、小学生が途中うなずいたり、笑ったりしながら話を聞く姿を見て、徐々に緊張もほぐれ、それぞれ気持ちのこもった読み聞かせを行うことができました。



また、6月8日（水）、掛合小学校との昼休み合同レクリエーション活動を行いました。体育委員会が主体となって事前に計画し、グラウンドでドッチボール、サッカー、縄跳びなど、高校生と小学生が一緒になって、楽しいひとときを過ごしました。小学生がお兄さん、お姉さんの手を引き、遊びに招き入れる微笑ましい姿も見られました。

キャリア教育講演会を行いました

5月31日（火）、全学年生徒を対象にキャリア教育講演会を行いました。この日は、株式会社さんぼうから講師をお招きし、学年別に「上手なメモの取り方と上手な手帳の使い方」について講義・演習を行いました。はじめに講師の先生から、メモやノートの取り方のコツや、シールやスタンプを活用した楽しい手帳作りの工夫を教わりました。その後、実際に6月の予定を手帳に書き込み、生徒同士それを見比べるなどして体験的に学ぶことができました。



1年生の地域探究学習がスタートしました



6月1日（水）、1年生が地域探究学習の一環として、掛合町内の名所・旧跡や資料館等を巡り、調査する活動を行いました。1年生は「総合的な探究の時間」を利用して、毎年度、掛合町内の5地区（多根、松笠、掛合、入間、波多）の現状と課題を調べ、グループに分かれて課題解決策を提案する学習活動を行っています。この日は、その活動のスタートとして、掛合町内の名所・旧跡等のフィールドワークを行いました。

このうち入間地区では、入間交流センター職員の方の案内で「八重山神社」を訪れました。八重山神社は、江戸時代から牛馬の守護神として地域の方に崇敬され、現在でも春・秋の祭典には多くの参拝者が訪れる神社です。およそ300段近くある長い石段を登ると、絶壁の岩のくぼみに本殿があり、掛合



町内の隠れたパワースポットを肌身で感じることができました。そのほかにも、竹下登元首相の生家「竹下本店」内にある「かけや酒蔵資料館」、日本の滝百選の一つにも選ばれている「龍頭が滝」や「波多神社」などを巡りました。

今後は各地区の調査活動をさらに進め、11月4日・5日に行われる掛合分校文化

祭において課題解決策の中間発表を行う予定です。



全校生徒を対象に校外進路学習を行いました



6月9日(木)、全校生徒を対象とした校外進路学習を行いました。この日は、午前中、就職希望者は「三刀屋金属株式会社」と「株式会社ひかわ」を、進学希望者は「坪内総合ビジネスカレッジ」と「松江栄養調理製菓専門学校」を訪れ、それぞれ見学を行い、午後は松江テルサを会場に、合同で企業・学校別の説明会を行いました。

このうち、就職希望者が訪れた「三刀屋金属株式会社」では、自動車部品のプレス加工や溶接加工の様子を見させていただきました。

また「株式会社ひかわ」では、実際にこの工場で作られたお茶を試飲させていただきました。

全学年合同縦割りグループでの進路学習は、少人数のメリットを生かした掛合分校ならではの取り組みです。就職・進学を前にした3年生の真剣な眼差しは、後輩の1・2年生にも刺激となったようです。

部活動報告

～県総体剣道部門出場、演劇同好会ドキュメンタリー映画上映～

6月4日(土)、益田市民体育館で行われた島根県高校総体剣道部門に、常松博樹さん(3年)が出場しました。昨年度のベスト16を越える結果とはなりませんでした。が、高校生活最後の県総体を悔いなく、掛合分校代表としてよくぞ頑張ってくれました。

また、6月5日(日)、雲南市木次町のチェリヴァホールにおいて、掛合分校演劇同好会の活動を追ったドキュメンタリー映画「走れ! 走れ走れメロス」が上映されました。演劇同好会の曾田昇吾さん、常松博樹さん、石飛圭祐さん、佐藤隆聖さん



(いずれも3年)の4人は、昨年度、同タイトルの演劇が高く評価され、3月に東京下北沢で行われた日本演出者協会「若手演出家コンクール2021」最優秀賞獲得に貢献しました。この日上映された映画は、昨年の地区大会から東京公演に至るまでの過程を、メンバー4人の活動や心情の変化にスポットをあてて描いたドキュメンタリー映画です。会場は多くの観客で埋め尽くされ、笑いあり、涙ありの感動的な作品が披露されました。上映後に行われたトークショーでは、メンバー4人と観客との楽しい対話が繰り広げられました。観客からは、メンバーの高い演技力と豊かな感性、そして個性溢れるメンバーのチームワークの高さを賞賛する声が数多く聞かれました。

